

議会だより



農業委員会委員の方々

- ◇ 新議長就任あいさつ…………… 2P
- ◇ 町長の5つの方針…………… 3P
- ◇ 決算を読み取る(総括質疑)…………… 7P
- ◇ 私はここが聞きたい!…………… 9P
- ◇ 6人の議員が熱弁(一般質問)…………… 28P
- ◇ 町民の声…………… 36P

平成27年
第3回 定例会

[9月25日～10月9日]

平成27年 第3回

臨時
議会

9月15日

新町長の就任挨拶が行われた後、工事請負契約等12議案が審議され、すべて原案どおり可決した。



前議長櫻井公一氏の辞職に伴い 議長選挙が行われる。

就任あいさつ



議長
片山正弘

この度、九月十五日の臨時議会において、不肖私、議員各位のご推挙により、松島町議会議長に就任いたしました片山正弘です。誠に身に余る光栄でありますと共に、職責の重大さを痛感いたしております。私は、本町議会議員としては、浅学非才であります。議長として、一身を挺して職務に全力を傾注し、公正かつ円滑な議会運営に取り組みと共に、町民福祉の推進に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

本町は、震災から四年八ヶ月が過ぎましたが、復興は道半ばであります。町民・各行政機関・議会が連携を密にし、一日も早い復興と町政発展の為、努力して参りますので、関係各位のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

片山議員の議長就任に伴う議席の一部変更が行われた。結果、4番議席が空席となる。

また、片山議員の常任委員の辞職により、所属する議会運営委員に、第2常任委員会から高橋利典議員が選任された。

平成27年
第3回

定

例

会

平成27年第3回定例会を、9月25日から10月9日までの会期で開催しました。

提案などの22件で、すべて原案どおり可決しました。

平成26年度各種会計の決算審査は特別委員会を設置して審議し、一般会計を含む9会計すべてを認定しました。

就任あいさつ



松島町長 櫻井 公一

所信表明

この度、私は持続可能なまちづくりと、東日本大震災からの復興という大変重い負託を受け、町政に当たらせていただくことになりました。

人口減少・超高齢化の時代を迎え、町政を取り巻く情勢が一層厳しさを増しているこの時期に町政を預かる責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。

私の使命は、町民の皆様の思いを着実に町政に反映させていくことであります。これまで町民の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見等につきましては、今後の町政運営に生かしてまいります。

官民が知恵を出し合い活力ある松島を町民の皆様と共に創造してまいります。

町民の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますように心からお願ひ申し上げます、所信表明とさせていただきます。

町長施政方針

① 震災からの復興の加速化

国が掲げる集中復興期間の最終年度である平成27年度中の事業完了は困難な状況であり、事業の約5割が平成28年度以降の完了となる見込みであります。

平成28年度からは、復興の新たなステージとして、平成32年度までの5ヶ年を期間とする「復興・創生期間」がスタート。

国・県・各種関係団体と、これまで以上に連携しながら、他自治体からの応援職員をはじめとする人材の確保を図り、確実に加速させてまいります。

② 子育て支援と教育環境の充実

本町の人口は、1万4千人台までに減少し、今後5年間の出生数は、推計で年間70人未満となっております。歯止めをかける施策が必要になってまいります。

保育所については、現場に足を運び、ニーズを把握しながら、施設の充実を図り、子育てと仕事の両立できる子育て環境を考へてまいります。

幼稚園については、今年から第五幼稚園が三歳児教育を開始しましたが、第一幼稚園は平成28年度から、第二幼稚園は平成29年度から、教育の充実を図る環境づくりを進めてまいります。

まずは、現在15歳までとなっている「子ども医療費助成」の対象年齢を18歳、高校卒業までの拡大について、実現に向け検討してまいります。

③ 企業誘致で地域産業の活性化

トップセールスの精神で、みずから直接企業を訪問し本町のすばらしさなど、PRを一層強化するとともに、企業の受け皿となる拠点の確保と関係連絡網の整備に最大限努め、一つでも多く、企業を誘致し、企業立地の発進力を高め更なる誘致促進に繋げてまいります。

また、放射光施設の誘致につきましては、県や関係機関との連絡を密にしながら、松島の優位性と熱意を伝え、誘致実現に向けた取り組みを推進してまいります。

④ 観光事業での活性化

観光は、交流人口の拡大に貢献し、産業の裾野が極めて広く、農林水産業とともに被災地を支える基幹的な産業と言えます。

近年の観光を取り巻く状況の変化を踏まえながら、再発見！。湾・ダークランド構想をはじめとし、3市3町など広域エリアでの観光施策を充実させ国内外からの観光客の誘客に務め、地域経済の活性化を図ってまいります。

また、松枯れ被害が拡大しており、特別名勝松島の広域エリアでの松枯れ対策が急務であり、県及び関係自治体と連携して、被害拡大防止の対策強化を国に働きかけてまいります。

水族館の跡地につきましては、公園管理者でもある宮城県との協議を進め、観光拠点施設の早期の実現に向けて取り組んでまいります。

⑤ 定住する魅力あるまちづくり

人口減少の対策につきましては、今年度末までに策定いたします長期総合計画と地方創生総合戦略に推進事業を位置づけてまいります。若手職員や各産業界の青年層の意見を拾い上げながら施策を立案し、実施可能なものからスピード感をもって進めてまいります。ソフト施策を併せてその受け皿となる住環境の整備も重要であります。

このため、幹線道路沿道や鉄道駅周辺など住居系及び商業系の土地利用を図るとともに、既存集落への新規住民の定着可能となるよう都市計画制度の活用を図ってまいります。

また、空家等の増加が問題となっておりますが、活用可能な空家等の移住交流事業や起業家の創業など地域活性化のための施設として有効活用を促す制度を検討してまいります。

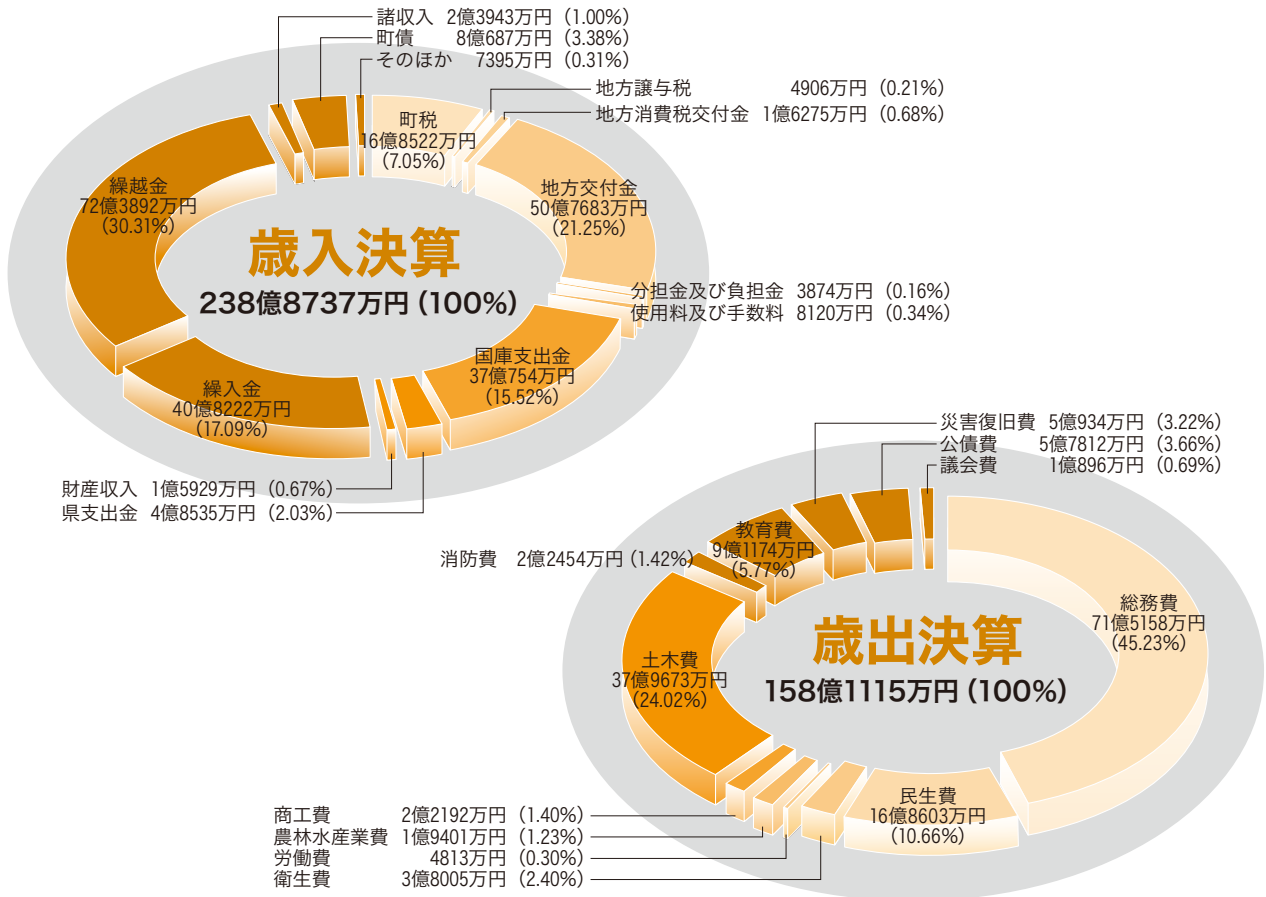
歳入

歳出

約238億

約158億

一般会計決算



一般会計の地方債(借入金)と基金(預金)の状況

預金は20億

町民ひとりあたり 13.6万円

借金は63億

町民ひとりあたり 42.3万円

決算収支は**黒字**になりました。

項目	金額 (万円未満四捨五入)
基金(預金)残高	20億3488万円
地方債(借入金)残高	63億2301万円

※平成27年3月31日人口：14918人

歳入歳出差引額 80億7622万円

- ①26年度の繰越事業 37億6400万円
- ②基金に積み立て 41億8000万円
- ③27年度への財源として繰越し 1億3222万円

形になりつつある 復興事業

平成26年度特別会計歳入歳出内訳

(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億2118万円	18億9158万円
後期高齢者医療	1億9039万円	1億8922万円
介護保険	14億9288万円	14億4235万円
介護サービス事業	497万円	497万円
観瀾亭等	7329万円	6272万円
松島区外区有財産	217万円	167万円
下水道事業	17億1302万円	11億1966万円

水道事業会計収支内訳

(万円未満四捨五入)

区分	収入	支出
収益的収支	6億1156万円	6億1469万円
資本的収支	0円	3463万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する3463万円は、過年度分損益勘定勘定留保資金等で補てんした。

主にこのような事業に使われました。

事業名	支出額	内容
復興推進費	17億4013万円	町実施主体の14事業に対する復興交付金の配分を受け、避難施設や備蓄倉庫の建設、耐震性貯水槽整備など各種事業に着手し、年度内に白萩避難所が完成した。
集会施設建設費	1億4999万円	高城コミュニティーセンターの建設に向けた業務を行い、平成26年6月に完成した。
児童館建設費	1億6724万円	町の子育て支援の中核施設となる児童館が完成し、平成27年4月1日よりオープンした。自由来館のほか、子育て支援センターや留守家庭学級の機能を持つ。
敬老事業	807万円	敬老会を開催し、式典・アトラクションを催し長寿を祝った。また、88歳に達した方90人、99歳に達した方4人に祝い金を贈った。
子ども医療対策費	1401万円	0～15歳到達年度までを対象とし、通院・入院の医療費を助成した。対象人数は1375人。
公園管理費	2億1679万円	運動公園多目的広場全面を天然芝から人工芝に整備を行った。
災害公営住宅整備費	7億7921万円	災害公営住宅40戸が完成し、平成27年4月より入居が開始された。また、磯崎美映の丘地内に災害公営防災広場の整備を行った。
体育施設費	1億2851万円	B&G海洋センタープール跡地に屋外多目的運動場(アトレ・るドーム)を整備し、雨天時等でも運動が可能となった。
幼稚園建設費	1億9197万円	第五小学校内で幼児教育を行っていた第五幼稚園について、健やかに子どもたちが成長できる環境整備のため、新園舎の建設を行った。
公共土木施設災害復旧費	4億7058万円	東日本大震災により被災した公共土木施設(漁港・河川・道路等)の調査、測量設計及び災害復旧工事21件を実施した。



白萩避難所



児童館



敬老会



運動公園多目的広場人工芝

監査委員が指摘

報告意見

特別会計

予算の執行については、東日本大震災からの早急な復興が望まれる中、各課連携し取り組んでいることは評価するものである。復興事業は町の最優先施策なので、確実な事業執行を目指し、各



菅野良雄、丹野和男監査委員

課が連携し計画完遂へ最大限の努力が望まれる。一方、事務処理過誤や書類の不備も見受けられることから、再発防止に向けて早急な行動開始が求められる。

また、現在の管理職の多くが平成27年度から数年で定年退職する状況である。町独自の研修を含めた研修の拡大により職場のリーダーとなるべき職員の育成を図ることが望まれる。

交通安全指導員は交通安全誘導や事故撲滅のため大切な活動をしていることから、年齢上限を緩和するなど積極的な勧誘対策を講じるよう望む。

東日本大震災の影響で松くい虫防除対策が実施できず、被害が拡大している。特別名勝「松島」の景観を守るためには、国庫補助金の増額が必要であり、県とともに強く国に求めるよう望む。

国民健康保険特別会計は、財政調整基金から1億7027万7千円の取り崩しをしているため、実質単年度収支においては1億3400万6千円の赤字であり、厳しい財政状況となっている。

介護保険特別会計は、財政調整基金から429万8千円の取り崩しをしているため、実質単年度収支においては4033万円の赤字となっている。財政状況は厳しいが、今後も介護支援が適正に受けられる事業の持続を望む。

介護サービス事業特別会計は、引き続き要支援状態の改善や要介護状態になることを予防することを目的に適切なサービス計画が効率的に提供できるようにすることが望まれる。

観瀾亭等特別会計は、今後も利用者へのサービス向上を図り、観光のまちづくりを推進していくことが望まれる。

下水道事業特別会計は、東日本大震災の復興推進費・災害復旧費が諸事情により執行が遅れ、繰越明許、事故繰越となつて、翌年へ繰り越すべき財源が5億6505万1千円になっている。松島地区内外水対策事業や公共下水道施設災害復旧事業などが事故繰越になっていることから、できるだけ早期に完了することが望まれる。

事業の経営と予算の執行については、適正かつ効率的に行われた決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類も法規に定められた様式により、会計諸規則により作成され、適正に処理されているものと認められた。

監査委員

丹野和男
菅野良雄

下水道事業会計

町の財政状況は健全です

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	なし	15.00	20.00
連結実質赤字比率	なし	20.00	30.00
実質公債費率	8.9	25.0	35.0
将来負担比率	60.7	350.0	—

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化比率
水道事業会計	なし	20.0
下水道事業特別会計	なし	20.0
観瀾亭等特別会計	なし	20.0

括疑 総質

決算を読み取る

太齋雅一 議員

観光行政の努力が見えない

問 町の産業を一遍に扱っている産業観光課である。その中で各業界の方々との検討委員会等行われているか。

産業観光課長 ご指摘の通り、横・縦の連携という点で、話し合いの場が少なかつたのは事実かと思っている。

漁協・農協などと、今後どうしていくかについて話し合う場も今年はまだ設けられていない。一方で、補助金の出ている団体と活性化協議会を中心に勉強会を実施していきたい。

企画調整課長 平成24年に観光振興計画を作ったが昨年から総合計画の策定を始めた。

現況把握から始めているが、地方創生の話の中

で交流人口対策もあり、補助事業で拾えないか準備をしているところである。

昔に戻るな。観光に新しい風を吹き込んで

問 観光おこし、地域おこし対策は、観光課だけでは難しいと思う。

観光協会の方々にも、町との連携を図りながら観光地づくりをして欲しいと願っており、観光協会などの話し合いはどうしているのか。

水族館跡地対策検討委員会が存在すると聞くが、その内容等も知りたいので、議会への報告の場を検討してもらいたい。

また、水族館跡地の問題について、観光協会は積極的でないとの声も聞こえているが、町長サイドの対応は。

町長 跡地問題に関して言えば、観光という点で

発信できる施設にして欲しい」という大きなテーマを頂戴している。

問 水族館が松島の観光をささえてきたと思っ

ているが、跡地問題についてどう考えるか。

町長 知事との面談では検討委員会が立ち上げた柱について、今後とも町の要望としてまとめていくと申し上げている。

雄島側へ誘客できる施設など考えており、今後とも県へ強く申し上げていく。

問 新町長のもと、水族館の跡地問題は検討されていくのか確認したい。

企画調整課長 県から、要望書には30代、50代の方の意見も取り入れ、提出するようにと言われている。

そこで10月21日、総合計画策定検討委員会が開催されるので、問いかけを行ってみようと考えている。さらに、議会の全

議員のサポートもお願いしたい。

問 新しい観光地をつくり上げるのが、今後の生きる道と考えるが町長の考えは。

町長 観光客の落ち込みは、宿泊客については戻り切れていない現状にあるようである。原発の問題もあり、観光協会だけではなく観光業にかかわる方々、一次産業、商工会もしくは世代間を超えた話し合いの中で一つの方向を打ち出せると思っ

ている。

議会のサポートもお願いしたい。

知事は公募を表明

問 跡地の施設プランに

関し積極的な行動を願いたい。併せて、議会も一体となり県に陳情していくことが望まれるが。



水族館跡地

今野 章 議員

介護施設等への監督は

問 介護施設等での虐待報道がある。町内施設で様々な風聞もあるが、行政側の指導・監督は。

健康長寿課長 在宅介護での虐待案件で保護のケースはあったが、町認可の施設では今のところない。

問 許認可の区別なく、町内の介護施設等の介護状況の改善へ指導・点検を行うべきではないか。

健康長寿課長 年6回、事業者等を集め会議でケース検討を行っているが、今後は、介護の内容の聞き取りや指導も考えたい。

副町長 集中改革プランで職員数は150人位となっているが、震災後、職員、臨時職員ともに増加しており、随時その対応を考えていきたい。

地域防災計画の見直しを

問 地域防災計画が策定

されたが、原子力災害では過酷事故発生による全町非難など最悪の事態が想定されていない。計画の見直しを行うべきではないか。

副町長 国、原子力委員会の指針の変更を受け随時見直したい。

問 原子力の安全神話を作ったのは国等で、適切な対応を取らなかつたことが、事故の一因となつた。地方自治体として自らの頭で考えることが必要ではないか。

副町長 防災計画は、国・県からの流れがあることも理解していただきたい。議員指摘のシミュレーションも行っており、改めて対応を考えたい。

松枯れ対策に向けて

問 松枯れ対策は、松島の景観を守るうえで大きな仕事であり、新たな行動が必要ではないか。

町長 松島湾を囲む3市3町が1つになって進めるよう働きかけ、対策に必要な予算規模を精査し

今後の農業について

問 一次産業とりわけ農業は経済の基盤と考えるが、米価の下落、TPPなど、その対応は。

町長 米価と共に後継者問題を合わせ、今後の農業のあり方を検討したい。TPPは、反対の考えに変更はない。

赤間幸夫 議員

職員への喚起では

問 平成26年度決算を受け、職員に向けて喚起を促したいと考えた部分は、

町長 町長に就任してと、いうことでお答えすると、まずは「挨拶と笑顔」は

忘れないように徹底してやっていきたい。つぎに、就任後まもなく2週続けて津波注意報や集中豪

雨による災害警報が出されたが、どういふ対応をとつたらいいのか、職員からの報告、庁内での緊急連絡網、町長に対する相談事等が速やかに伝わ

るように、気を配りやっていきたい。

昨年の意見要望の改善は

問 25年度決算認定に付された意見要望に関して

(選挙投票率の向上、職員研修、マリンピア水族館跡地利用、高齢者や障害者等を災害から守るため要援護者支援対象者同意率のアップ、町道の草刈りなど)、今回の決算では改善してきているか。

総務課長 選挙投票率向上の具体策では、近隣市町との情報交換を含め創意工夫を凝らしながら改善していきたい。また、職員研修は、普通研修(公務研修所等が行う公務員研修)のほかに、町独自の研修として所管事務研修を管理職、あるいは担当職員により庁内職員(派遣職員含めて)に実施した。

企画調整課長 マリンピア水族館跡地利用に関しては、跡地利用検討委員会を設置し幅広く意見要望をまとめて県に発信し

てきたことから、町の意向を相当程度高く取り入れていただけるものと考えている。

町民福祉課長 要援護者支援対象者の同意率アップでは、障害者の方が約4割、高齢弱者でもその対象者数の半分までいかない状況にあり、更に同意促進を図る。

町長 町道の草刈りは区長会等でご意見を伺い、「今後、どういう方向がいいのか」、あるいは「一概に全て町で委託を行えばいい」という問題でもないことであり、十二分に検討を行い、対応を考えていきたい。

決算一目瞭然の工夫

問 施策の成果説明では、単に数値の置き換えや前例踏襲に終始した説明となつており、事務事業の改善につながらないと思うがどうか。

企画調整課長 決算の成果、行政運営のチェック手法として行政評価方式の導入を総合計画期間の中で実現したい。この方

式を採用することで、事務事業の進捗度合いがより理解しやすくなると思う。

今後の行政運営

問 決算を受け、町民の声を基に今後の行政運営の在り方で重視したい施策をお伺いしたい。

町長 色々ある中で例えばだが、人口減少対策が遅々として、前町政では進まなかつたのは、「政策に誤りがあるからだ」というふうなことが新聞報道されたが、子供を育てる上での支援政策が前執行部のやり方で間違つていたということではなくて、欠けていたのではないのかということである。その欠けていた部分を、今度は自分がその立場になつたからには、1つでも2つでも子育て支援のための具体策を、子育て世代に役立つように取り入れていこうというのが今の気持ちである。

私はここが聞きたい!

～決算審査特別委員会～

特別委員会



高橋幸彦決算審査特別委員長

銀行間利率の違いは何故

赤間幸夫議員 利率を決めるのは、預け先機関との話し合いか、入札か。

会計管理者 満期前に基金の繰り入れということを取り崩しがある。

仙台農協だけは、今までのつき合いから本店と協議の上で割高な利率で対応して頂いている。他行は交渉しても店頭価格でしかできない。

復興基金利子の行方は

高橋利典議員 交付金の基金の利子として145万円程あるがこれは町の

収入として計上されるのか。

会計管理者 利子は当然町の収入となるが、復興交付金は、いずれ精算の段階で順次その利子も含め返還になる。

白萩新投票所の反応は

色川晴夫議員 磯崎は、広いので投票所2ヶ所と議会から要望もあつたが、今回白萩避難所に移り、その結果どのような反応であつたか。

選挙管理委員会事務局長 磯崎区民会館から白萩避難所へ投票所を変更したが、これは区総会に諮

り進めたものの、場所がわからないとの問い合わせがあつた。

区長等に伺つたところ駐車場、投票所自体も広く悪い印象はなかつたし定着していくのではとの意見であつた。

職員採用は委託か

色川晴夫議員 25年度の職員採用時は委託であつたが、26年度計上がない理由は。

総務課参事 26年度も町村会へ委託を行い職員採用試験を実施した。昨年度、中途退職者の補充で通常2回のところ3回行ったため実費負担となつた。

施設修繕の作業は早く

赤間幸夫議員 各地区の施設の改築や修繕は、どのような手順で進められるのか。区長から遅いと指摘があるが。

総務課参事 区の要望により修繕するが、優先順位により行つていく。

職員の健診で異常 ありが目立つ

櫻井靖議員 職員の健康診断で偏つた傾向は把握しているのか。

また、メンタルヘルスなど講習も役場をあげてやるべきである。

総務課参事 いわゆるメタボ職員は多い。暴飲暴食の人もいるようで、ストレスもあるのかなと思ふ。

交際費はホームページで

今野章議員 文書の開示請求がされたりするが町長の交際費はホームページに掲載という手だてもあるがどうか。

総務課参事 9月より櫻井町長となり、相談させて頂く。

顧問弁護士の選任は

今野章議員 26年度7件の相談で、60万円の顧問料であるが、テレビのCM時代に入札、見積り合わせなど安くできるのではないか。検討しては。

総務課長 弁護士事務所は変わっていないが、2代目に担当してもらっている。安いなと思つているが、勉強させて欲しい。

集会施設の合併浄化槽は

今野章議員 下水道が通っていない集会施設の改善を進めなければならぬが、今後どうしていくのか。

総務課長 その通りである。建物の老朽等を見据え考えていく。

止まらない職員の休職

小幡公雄議員 3月に7人の休職が報告されたがその後についてはどうか。

総務課参事 26年度の現状で、病気休暇、休職者は12人。うち精神的なものの8人。休職3人・病気5人、うち1人が10月1日より復帰に向け職務訓練を行うことが決まっている。

防犯灯の設置、対応策は

赤間幸夫議員 街路灯でない防犯灯の設置について、地区要請の設置基準を伺う。

危機管理監 防犯灯の要望は多いが、予算上の関係もあり、優先順位をもつて設置している。

交通安全指導員不足は深刻

櫻井靖議員 監査報告にもあった通り、交通安全指導員の人数不足は混乱を招いている、現在10名



交通安全指導員

のうち1人ケガをし動けるのは9人。

目標人数を設定し募集に工夫することを要望しておく。

防犯指導隊の実態は

今野章議員 5団体の構成人数は。

また、不審者情報は学校などと連携しているのか。

危機管理監 5団体は松島海岸防犯指導隊28人、磯崎地区16人、手樽地区21人、北部地区26人、初

原地区32人となっている。

情報の連携は、正直わからない。

今野章議員 高城地区が入っていないが、どうなっている。

危機管理監 解散し、現在は無い。

総務課長 区と具体的にどう取り組むのか話し合いたい。

町民バスのあり方を見直せ

今野章議員 町民バス運行の関係で、今年は地域公共交通会議はやらなかったということだが、いわゆる空白地帯の足の確保策として、この会議では話し合いがもたれたことはないのか。

環境防災班長 過去、特段検討されたことはない。町民バス利用者も減っているのを見直す時期と考えている。

環境防災班長 過去、特段検討されたことはない。



町民バス

町民バスの行方は？

色川晴夫議員 26年度マインス3117万円余の実績。

地域交通空白地帯への運行で、収支バランスを度外視した政策であったが、何か節減対策は考えているか。

環境防災班長 経費削減の部分では検討しなければならぬことは、承知しているが、今のところ

ない。町に協議会をつくり、情報の共有化を図ってもらいたい。

環境防災班長 松島町にのみ協議会がないことは知っていた。一旦、5団体をテーブルにつけ、必要かどうかの協議を図り、必要であれば設立の方向へ進みたい。

進まぬ処遇改善

阿部幸夫議員 処遇改善が26年度中に行われるものと期待していたが、ならず、2市3町と比し防犯指導隊の身分保障がない中、2人の若人がやめた。

我々五小学区は、学校、PTA、地域の交通指導隊などの方々と意見交換会を春秋の2回、警察を含め開催している。早い組織作りを願う。

消毒行為は防疫事業

赤間幸夫議員 公衆衛生組合が12行政区あるが、そ族昆虫等の消毒を実施

している組合と薬剤のみを各戸配布してところがあろうか。

環境防災班長 200万円の補助を組合へ、各戸配布をお願いしている。

赤間幸夫議員 防疫事業の主体者は、本来町であり、デング熱など感染症が流行している時代、薬液等の扱いについて団体とも話し合い、よい方向付けを望む。

防潮扉の扱いは真剣に！

色川晴夫議員 この間のチリ津波の時、ようやく閉めたのを見たが、管理状況はどうだったのか。
環境防災班長 砂利が詰まり苦労したと聞く。

開ける時に出向いたがその時も砂利が邪魔で、あけるのに苦労した。

私も反省しており、定期点検が必要なことは理解している。

聞こえない防災無線

今野章議員 戸別受信機

は検討されたか。また、緊急メール連絡網があるが、幾つぐらいつながっているか。

総務課長 戸別受信機のラジオも昔は高かったが、刻々時代は変わるので、情報を得ながら対応していく。

環境防災班長 住民の方のメールが安全・安心メールにつながっている部分は、現在1819件である。

自主防災組織の活動は

高橋利典議員 松島の自主防災組織は60%に達していなかったと思うが、26年度は何組織となったか。

環境防災班長 町全体で41組織あり、活動した団体は14組織である。

総務課長 町民の数で言えば75%位である。

残りは街場の方々であり、災害時一番大きく被害を受ける地区なので、結成に向け声がけをしていく。

マスク対策は積極的に

高橋利典議員 紫神社のお白石持ち行事があったが、メインイベントが写されず、情報発信はどうだったのか。

企画調整課長 マスコミ対応ということで、塩釜記者クラブへの投げ込みを中心に行っているが、クラブ自体の人数削減などあり、また発信情報をみないで取材に来る記者もいて悲しい状況にある。

ウェブアンケートの結果は

櫻井靖議員 ウェブアンケートを実施したようだが、どのように広報し何名が答えられたか。

企画調整課長 アンケートに応じますよという方の集団があり、松島に来たことがある方達1000件位である。

チャット会議への展望は

櫻井靖議員 一つのもの投げかけて、町民の意見をきくみたい会議の

方式があってもよいと思うがどうか。

企画調整課長 チャット会議はおもしろい話だと思ふ。

子ども・子育ての担当の方でやりたいということとで相談にのっている。

光熱費1200万円て何？

色川晴夫議員 すごい金額の光熱費であるが、電気代、水道代の割合は幾らか内訳を伺う。

財政班長 900万円が役場庁舎分で残額300万円が松島フットボールセンターの光熱費となっている。比率は9対1で電気料が上回っている。ただ、フットボールセンターの水道料は、県のサッカー協会が全額負担。電気代のみ月15万円を超える部分を協会が負担している。

連絡通路の経費は

色川晴夫議員 松島駅の線路をまたぐ通路の経費24万円を永久的に支払う



松島駅連絡通路

ことになるのか。補修工事はどうなるのか。

財務課長 JRから降雪時につらら除去に関し、基本的にJR側で処理すると言われたことはあるが、耐用年数の問題など今後確認していく。

水道事業所長 二子屋浄水場等々の将来の建設について、計算上見込んでおり、長年培ってきた制度上できた資本金であり現状を維持していく。

水道料金を何故下げない

阿部幸夫議員 資本金(29億5089万円)が大きく、水道料を下げ町民に還元すべきである。
今野章議員 阿部議員も言っているが、借金の考え方があり、将来負担を何故今のお金で賄うとす

るのか。その考え方自体不健全ではないのか。

運転資金は、どれ位か。

水道事業所長 運転資金は、手元に資料を持ち合わせていない。

資本金の減額について法律が変わり、議会の議決を受けて減額が可能となっているので、勉強させて頂きたい。

今野章議員 放射性物質検査を定期的ばかりでなく、検査機を借りて色々やってみる考えはないか。

施設班長 セシウム濃度は、浄水では出たことはない。

お話の通り、試しに川水を直接採取し検査してもらった時があるが、下限値に及ばない結果ができたことがある。

なお、検査は宮城県の公衆衛生協会へ依頼している。

鉛管は大丈夫か

赤間幸夫議員 今朝の新聞に掲載された鉛管につ

いて町の対応は。

水道事業所長 鉛管問題は、10年位前にも出たが当時600件位あった。

昭和50年以前の建物は古いのであるかも知れないが、宅内で漏水した場合、材料を支給し直している。家の建て替え、道路拡幅の際、一緒に直しているのが現状である。

延長保育は万全か

赤間幸夫議員 朝は7時、夜は19時までの延長保育は考えられないものかとの声を耳にするが、どうなっているか。

町民福祉課長 実際行っている。海岸と磯崎は、7時半から18時まで。高城保育所は、7時から19時まで特別延長というところで、希望される方は高城保育所を紹介している。

磯崎保育所のトイレは修繕したか

阿部幸夫議員 磯崎保育所のトイレに限定するが

修繕は済んでいるか。

臭いが厳しいし、ドアの建て付けも悪く、行けばすぐ気付く。町は何をしているか。

町民福祉課長 高城保育所は直したが、磯崎はまだである。

副町長 不用額が出ており、個人的にはできたと思うが、色々見直しをしていく。

特定健診の受診率は

後藤良郎議員 市町村の目標60%。町は当初52%ということであったが26年47・4%。横ばいの状態だが、どうとらえているのか。

町民サービス班長 受診率は下がっている。来年度以降、あり方を考えなければと思っっている。通院されている方をどう扱うのが課題と考えている。

農業をダメにするな

今野章議員 米の直接支払交付金が4000万円近く減額され、米価の下落もあり、農家所得は減る一方である。

認定農業者を中心に農地を集積していくというが、その他の農業者は後継者もおらず、町の農地を守ることは不可能となり地域は崩壊していく。

TPPをやられればまた米価が下がらざるを得ないところに追い込まれるが、町の農業を守るのにどんなことを考えているか。

産業観光課長 国策もあるが、高齢化が進む中で経営が難しくなっている。関係者と情報を共有しながら、複合的経営に向かうのが大事と考えている。

産業振興班長 輸出で需要を増やさないといけないと思うが、水田は水害防止の一つでもあり、今後の課題となる。

農地の転用の実態は

赤間幸夫議員 農地法の権利関係や用途変更、権利移動など傾向はどうなっているか。

産業振興班長 やはりソーラーパネル関係や駐車場が増えている。ソーラーパネルに関しては、構造物を設置するところから永久転用と解釈している。

松島夢・農業農村活性化推進事業の内容は

赤間幸夫議員 耳になじまない事業であるが。

産業振興班長 農協が実施主体になった地域の震災前の愛・らんど松島を残したものである。

ウミネコに狙われるパン

色川晴夫議員 観光客がパンを食べていると待ち構えたようにパンをとっていくという。販売業者への指導をすべきと思うがどうか。

産業観光課長 観光客が

怖い思いをされていると聞いている。食べ歩きは楽しみの一つであるが、対応策は、みえていない。

色川晴夫議員 ウミネコ対策を県にお願いするということであったが、県は何と言っているのか。

産業観光課長 町で立ち上げていくウミネコ等被害防止対策委員会がある。そこには県の関係者等も入っていて、残念ながら27年度は実施していない。

県で昨年と今年度、試験的ではあるが、島にネットをかけウミネコの飛来を防止し、松の育成も取り組んでいる。

松島ファンクラブ会員は

高橋利典議員 新会員として増えた方は何人か。

産業観光課長 77・36%の方がリピーターで継続していただいております。229人、新規会員67人となっている。

二度と起こしてはならない
ため池事故

今野章議員 ため池に対するフェンスの設置率はその位か。

建設課長 統計はとっていないが10%位と思う。民家や学校に近い所から区と相談し、仕事をしていく。

建設班長 ため池に関し町全体で、102ヶ所。現在14ヶ所ほど検査は終了。今後の計画として、30ヶ所ほど随時フェンスの整備を進めていく。

初原志戸内地区の水害対策を急ぎなさい

赤間幸夫議員 台風等の襲来など、志戸内地区の水害について、地元との話し合いはどの程度進んでいるか。

建設課長 台風19号以前から何もしていない状況にある。

事業化に向けて、下水道事業として補助金もらいやるといふ可能性は県から受けている。

単費で全額出すわけにもいかないの、補助事業を探っている。時間がかかる状況である。見込みが立った時点で地元説明会を考えている。

ガタガタ・ガタガタ石畳

色川晴夫議員 天隣院並の道路が、2年前に補修したのに、ガタガタの状態。抜本的解決を講じて欲しい。通行止めもや



天隣院並びの石畳

ぶさかでない。
建設課長 来年度のこと

なので、先にしゃべれないが、夜間、日中の全面通行止め可能を見極め、予算要求したいと考える。

出生数66人をどう見る

太齋雅一議員 出生数66人に対し、担当課としてどう感じているか。
健康長寿課長 私が役場に入って30年であるが、

当時189人位いたと思う。町民福祉課とも相談しながら、子育ての充実とか努めていかなければならないかなと感じている。

40代後半から50代後半くらいまで独身の男性が多く、子供の数が少なくなってきたという印象を受けている。

太齋雅一議員 学校へ行くたびに子供たちの数がどんどん減っていく。町全体の各課共通の課題として、庁舎内でそういう話し合いをもったことはあるのか。

副町長 担当部署ばかりでなく、まちづくりからスタートし、子育て等々横の連絡を密にしながら考えて行く。

太齋雅一議員 2市3町で人口減少が著しいのは松島町である。新体制になったのだから、新しいまちづくりの発想をして対応されることを望む。
副町長 高齢化率等数字的にもはつきり出てい

る。人口が増えるための要因として土地開発もあり、今後幅広く取り組んでいく。

無償借付は何故

赤間幸夫議員 千賀の浦福祉会に対する2市3町の状況をみると、松島町だけが長いこと無償貸し付けをしている。

今後使用料の徴収をすべきではないか、事業者との話し合いの経緯もふまえて答弁願う。

健康長寿課長 ほかの市町も10年間無償ということとで、10年たった時点から有償になり、近隣はいたくようになつたが、松島町は、なくてはならない施設と10年過ぎたところで庁舎内でも話し合い経営に協力するという立場で無償で貸している。

町長も変わり、期限が切れる時には、庁舎内で話し合う必要がある内容とは思っている。

赤間幸夫議員 10年でと

いうことで松島を除いた他市町は既に使用料収入を得ている。その情報を得ていながら、今日まで過ごしてきたことに疑問をもつものである。

多すぎる不納欠損何故?

小幡公雄議員 第1号保険者の介護保険料の不納欠損の金額が大きいので何う。

高齢者支援班主幹 今回の処理件数886件、実人数348人分である。

健康長寿課長 348人の内、死亡した方、転出した方、職権削除された方、生活保護に移られた方ということで138人。それらを除く210人の方が町民で納めていない。

児童生徒の減少を教育長はどう見るか

太齋雅一議員 中学校1学年100人を切った町。教育長の心を痛めている部分は。

教育長 児童生徒の数が

少なくなると学校の質の問題となってくる。

学校の充実をさらに深め、学力の向上、体力増進と根気よくやっていくしかないと考えている。

朝食抜き生徒15人を数える

太齋雅一議員 子供たちの食生活について状況を教えて欲しい。

教育課長

好き嫌いが激しくなってくるのが、実は中学生当たりからで、朝食抜きで言えば、大体11~15人となっている。栄養士のコメントを踏まえながら、給食だよりで随時訴えていかなければと思っています。

交流館事業は大赤字

櫻井靖議員

文化観光交流館事業出演料とチケット収入等を差し引いた額が424万8千円で大幅な赤字だと思うが企画の立て方、チケットの売り方に問題はなかったのか。

教育課長

交流館の事業

は始まったばかりだ。一般財源の持ち出しは多少あるが、これからこういうことをやっていくという意識付けにしたい。チケット販売は、できる限りメディアを使ってPRしていきたい。

櫻井靖議員

これら交流館事業のほとんどが株式会社BBIが関連していると思うが、独占的になっているのではないか。他の団体が入る隙間がないのではないか。

教育課長

BBIが企画しているのではなく、日本芸術団体連絡協議会の東北事務局が行っている。細かいところに声をかけて意見を伺うやり方は先に進みづらいので精通した人に力になってもらっている。

現地調査

決算審査特別委員会は、10月1日(木)、復興支援施設(パノラマハウス)建設事業や本郷地区備蓄倉庫建設事業など全11ヶ所の現地調査を行いました。



三十川地区避難場所



本郷地区備蓄倉庫



パノラマハウス



東浜地区避難道路



第五幼稚園

議会は進言する

○交通安全指導員について

交通安全指導員の役割には大なるものがある。事故のない安全な町づくりを目指し、積極的な募集活動を行うことを望む。

○防犯指導隊について

防犯指導隊は、役割上各地区情報の共有が望まれる。併せて、隊員の待遇改善を求めるものである。

○町民バスについて

町民バスについては、利用しやすい交通体系の改善が求められている。交通弱者の足として、デマンド交通方式など抜本的な交通体系の見直しが望まれる。

○防災情報の伝達について

防災無線の難聴が指摘されて久しい。災害緊急速報メールに登録するよう一段の広報活動を求める。同時に、防災ラジオ等の個別受信機の採用も検討すべきである。

○松島区外区有財産特別会計について

区有財産の整理については、長年にわたり議会が指摘してきたが、未だに解決にいたっていない。その確実な実行を強く望むものである。

○特定健康診断について

特定健康診断受診者数が、その目標を大幅に下回り、昨年実績にも届かずに終わった。健康維持・増進、病気の早期発見がこの制度の目的である。受診効果のメリットを広報されるよう望む。

○保育所などの環境改善について

施設の老朽化が進む中、子ども目線での施設のあり方が問わ

れている。トイレ・建具など積極的な改善対策を望む。

さらに、保育士の処遇等の改善を行うべきである。

また、延長保育に関する要望は、積極的な受け入れ体制が望まれる。

○本町の農業施策について

2市3町で最も農地面積を保有する松島町の農業をどう守るのか、町独自の施策を展開するよう望む。

○国道45号の改修について

震災復興事業にかかる国道45号の松島海岸通りの改修工事設計に当たっては、交通渋滞原因の一つとなっている荷物の搬入による駐車場の問題を提起し、解決が図られるよう求める。その際には、関係者とも十分に協議することを望む。

○野外活動センターについて

野外活動センターの排水と整地の不備を長年指摘してきたが、未だに整備されていない。使用料を徴収している以上、早急に改善するよう求めるものである。

○不納欠損について

監査意見書においても指摘されているが、安易な不納欠損が行われている。今後はこのようなことがないよう職員は気を引き締めて収納対策をすべきである。

〔全般〕

本町は県内他町村よりも少子高齢化が進んでいる。職員一丸となって町の活性化へ向けたアイデア創出を図り、積極的な取り組みを望む。

一般会計予算

反対

今野 章 議員

3年を経過してもアベノミクスを実感できず、国民の反対や議論を尽くせの声を無視して戦争法案を通し、TPPの大筋合意に至るなど、民意からかけ離れた政治が行われている。この様な国の言うがまま従う町政の在り方には賛成できない。

新町長には町のトップとして、町民の思いを受け止め、暮らし、福祉を守り充実させるという立場を期待する。平成26年度決算にあたって震災からの復興、子ども医療助成の拡大、幼稚園の3歳児受け入れ準備、不登校対策等が充実されたが、一方で個人情報漏えい懸念があるマイナンバー導入準備や臨時職員の処遇改善、高齢者等の交通対策、徴税の在り方、保育士など保育所の在り方、原子力災害、農業支援等々で不十分さを残した。

賛成

澁谷 秀夫 議員

平成26年度一般会計の決算額は、歳入歳出差引額から平成27年度への繰越財源を除いた実質収支額が、43億1222万2千余円の赤字となり、歳入の収入率、歳出の執行率いずれも前年度を上回っている。総合的内容としては、企画調整課を中心として、長期総合計画第3次基本計画と震災復興計画との連携を図りつつ、各種事業が遂行された。

主な事業の成果として、震災復興計画の早期具現化に努め、企業誘致にあたり、東北放射光施設誘致に向け官民挙げて力を注ぎ、子育て支援策として中核となる児童館の建設を行い、商業振興対策として、プレミアム商品券を発行し、地域経済の活性化に繋げた点などが評価される。以上の観点から、平成26年度一般会計は、適正に執行されたものと認め、賛成とする。

国民健康保険特別会計予算

反対

今野 章 議員

国保加入世帯の内、法定減免を受ける世帯は55%である。所得ゼロの世帯は29%を占め、所得100万円以下の加入者は全体の56%余りである。加入者の多くが低収入で、26年度1860万円を不納欠損処理してなお、累積滞納1億7800万円余となっている。

加入者の56%が60歳以上で、年金生活に移行し収入が減る一方、多くの病気を抱えはじめる年代でもあり、それは高すぎる国保税の滞納・収納率の低下として表れていると言える。国保は、このような脆弱な基盤の上で運営されており、公費負担によって支えなければ成り立たない制度となっている。

本町の医療費は1人当たり30万6611円となっている。実質収入は2億2960万の赤字となっているが、財政調整基金から1億7027万7千円の取り崩しを行っており、実質単年度収支は1億3400万6千円の赤字であり厳しい財政状況となっている。

平成26年から軽減の拡大が図られている結果、7割軽減が739世帯、5割軽減が321世帯、2割軽減が259世帯と全体で86世帯の増となっている。また、保険料の滞納者への短期保険証は3ヶ月で109件、6ヶ月で30件、資格証明書0となっており、医療機関での受診が可能な措置がとられている。社会保障及び福祉向上に寄与し、被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行っていることから賛成の討論とする。

賛成

高橋 利典 議員

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章
議員

平成20年に創設されたこの医療制度では、収入がなくても75歳以上の全員に保険料が課され、2年ごとに見直される。

75歳以上の人口と医療費が増加するほど、保険料負担にはねかえり、保険料が上昇していく仕組みになっており、これは高齢者の生活実態を無視して、能力を超えた負担を求めようとする仕組みである。

この制度は、年齢で医療内容を変化させる差別的医療制度でもあり、高齢者に我慢と犠牲を強いる冷酷な制度となっている。

このような医療制度は直ちに廃止し、国の責任を明確にして、安心して高齢者が医療にかかれるよう制度設計することを求めるものである。

賛成

後藤 良郎
議員

この医療制度は、少子高齢化の急速な進展や医療技術の進歩、国民意識の変化などにより、高齢者の方々が安心して医療を受けることができるように、平成20年度から開始された制度である。

いまや日本は世界で男女とも長寿国となり、今後も高齢者は増加するものと考えられる。一方では、税と社会保障制度の一体改革が進められているところであり、必要な人に必要な給付がされるよう強く望むものである。

このような中、本町における後期高齢者医療保険制度に係る、平成26年度の事業運営は、宮城県後期高齢者医療広域連合議会との連携のもと、各種申請の受付や保険料の徴収等について、適切な実施されたものと考ええる。さらなる努力を期待申し上げ、賛成の討論とする。



議案審議

松島町個人情報保護条例の制定

主な内容

文書、図画などの各種媒体に記録された個人情報及びパーソナルコンピュータなどで扱う電磁的記録された個人情報を総括して、その取扱いの基本的事項を定め、また開示請求などにより個人の関与を保障し、個人の権利利益を保護することを目的としている。

また、行政手続における個人を識別するための番号の利用などに関する法律（番号法）の施行により求められる取扱いについても併せて盛り込み制定するものである。

質疑

今野章議員

この制定によって、松島町民の権利利益をどう守るのか。また、個人情報漏れた場

合、漏らされた方に対する責任、対応はどうなるのか。

総務課長

漏らした者には罰則があるが、漏らされた方には、今の段階では具体的な救済事業など、国による対応策は基本的にはない。

赤間幸夫議員

平成28年1月1日から本格施行に伴い、職員などの組織体制ならびに外部委託関係は現在どのようになっていくのか。

総務課長

職員については、前年度より各課スタッフ制で対応するとともに、東京研修などを含め近隣市町村との情報を収集しながら進めている。

菅野良雄議員

個人情報漏れた場合、個人対応は難しいと思う。対策はどうなるのか。

総務課長

対応としては条例の一部改正の考えも

あるが、職員対応が一番である。

色川晴夫議員

本施行を前にして、職員の認知度および研修のスケジュールはどうなっているか。

総務課参事

マイナンバーに係る研修は、国・県に出向いて参加しており、個人情報やマイナンバーについて勉強してきた。今後も関係職員のみならず、全職員に対し、マイナンバーの理解・熟知出来る対応を実施したい考えである。



討論

反対
今野 章議員

今回の条例制定では、国民一人一人に12桁の番号を付け、社会保障・税などの情報を国が一元化に管理し、行政手続きなどで活用されるマイナンバー制導入に伴って、特定個人情報などに関係する取扱いをも否定する内容であり反対とする。

また、議案第99号、第100号、第101号についても同様趣旨から反対とする。

賛成多数・可決

職員の再任用に関する条例の一部改正

主な内容

被用者年金制度の一元化を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律が、平成27年10月1日に施行されることに伴い、地方公務員等共済組合法から厚生年金保険法を適用する措置を講ずる改正を行うものであ

る。

質疑

色川晴夫議員

本町においても、再任用制度が定年から最長5年間あるが、周知の仕方や手続きについて伺う。

総務課長

平成26年に退職された1名を再任用している。年度初めに該当者に資料を配付し、6月末に退職または再任用かを提出する内容になっている。

賛成全員・可決

松島町税条例の一部改正

主な内容

平成27年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律により、地方税における猶予制度の見直しが行われ、猶予に係る一定の事項を条例で定めることが必要になったことから猶予に係る納付または納付方法や手続きなどの規定を定めるものである。

また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用者等に関する法律附則第1条第4号に掲げる規定の施行への対応のために、申告書、申請書等に法人番号や個人番号の記載を求めなどの改正を行うものである。

賛成多数・可決

賛成全員・可決

**松島町国民健康保険
税条例の一部改正**

主な内容

行政手続における特定の個人を識別するため、番号の利用等に関する法律附則第1条4号に掲げる規定の施行への対応のために、国民健康保険税の減免申請書に個人番号の記載を求めるための改正である。

賛成多数・可決

**松島町手数料条例の
一部改正**

主な内容

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定を考慮し、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定める。また、同法の制定に伴う住民基本台帳法の改正により、住民基本台帳カード交付手数料を廃止するものである。

賛成多数・可決

指定管理者の指定

主な内容

新たに公共施設を指定するものである。

名称	団体名	指定の期間
命院所 避難	松島町 本郷区	平成27年10月1日から 平成29年3月31日まで
防災一 手樽セ ンター	松島町 手樽区	

賛成全員・可決

**工事請負契約の締結
（漁業集落防災機能
強化工事（早川地区））**

主な内容

東日本大震災で被害を受けた手樽字早川地区を対象に、排水機能の強化を図るための新たな排水経路の整備工事であり、工期は平成28年3月31日である。

契約金額

5907万6千円

契約の相手方

(株)堀口組仙台支店

質疑

小幡公雄議員

入札の競合があった場合、通常であれば80%台で落札しているが、今回の99%以上は異常ではないか。また、入札監視委員からの指導はあるのか。

財務課長

近年は完全に供給より需要が上回っている実情であることが、大きな要因になっていると思われる。また、入札監視委員会からは、一応了承をもらっている。

賛成全員・可決

**平成27年度一般会計
補正予算**

主な内容

平成26年度決算に伴う繰越金等について補正するものである。主な事業は、次のとおり。

●東日本大震災復興交付
基金金積立金

31億1184万円

●耐震性貯水槽整備工事

2700万円

●松島フットボールセン
ター・松島第一小学校

自家発電整備事業
6948万7千円

町道西行戻しの松線舗装補修工事
1552万1千円

●町道内町線外道路整備
事業
1000万円

●下水道事業特別会計繰
出金
3億7096万3千円

●かき柵移転補償
477万円

質疑

櫻井靖議員

自家発電機装置設置場所として、津波・豪雨等浸水の恐れや崖崩れの恐れのある低い場所は不適切ではないか。

危機管理監

学校敷地内で色々と設置場所を検討したが、施行箇所以外に適当な箇所がないことから、基礎を上げて設置することにした。

赤間幸夫議員

脳検診、合併処理浄化槽設置に係る補助金の算出根拠は、

健康長寿課長 40歳から5年ごと75歳までの方を

対象に、近隣市町の受診者状況から40人と見込んだが、160人の申し込みがあった。1人1万円の助成を見積った。

水道事業所長

当初19基を見込んだが、建て替え者が増えたことから1基あたり41万4千円を5基で207万円を見込んだ。

色川晴夫議員

耐震性貯水槽整備事業として、1人1日1ℓの供給で4000人分の水の確保が出来るが、常に満杯40tの貯水状態なのか、飲料水としての保健衛生面の管理は大丈夫か。また、火災の際の消防水利として活用はされるのか。

危機管理監

常に満杯の状態を保ち、10年程度は飲料水として問題はないが、定期的に交換する等状態を保つことになる。また、火災の際は人命第一なので消火用水としても活用する。

賛成全員・可決

**平成27年度松島町国民健康保険特別会計
補正予算**

主な内容

平成26年度決算に伴う一般会計繰出金および繰越金、平成26年度退職者医療交付金の確定による還付金の補正に伴う財源を精査し、財政調整基金繰入金を減額するものである。

賛成全員・可決

**平成27年度松島町後
期高齢者医療特別会
計補正予算**

主な内容

平成26年度決算に伴う一般会計繰出金および繰越金について補正するものである。

賛成全員・可決

**平成27年度松島町介護
保険特別会計補正予算**

主な内容

平成26年度決算に伴う一般会計繰出金および繰越金、平成26年度支払基金交付金の確定による返

還金等の補正に伴う財源を精査し、財政調整基金繰入金を減額するものである。

賛成全員・可決

平成27年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算

主な内容

平成26年度決算に伴う繰越金、消費税及び地方消費税の確定、中間納付額について補正し、財政調整基金繰入金を増額するものである。

賛成全員・可決

平成27年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算

主な内容

松島区の前年度繰越金について補正し、松島区の区有財産へ積み立てするものである。

賛成全員・可決

平成27年度松島町下水道事業特別会計補正予算

主な内容

平成26年度決算に伴う

一般会計繰出金および繰越金、消費税及び地方消費税の確定、中間納付額ならびに東日本大震災復興交付金事業に伴う公共下水道松島幹線汚水管渠移設工事の補正を行うもので、これらの財源を精査し、一般会計繰入金を増額するものである。

質疑

赤間幸夫議員

全体施工延長が653メートルあるが、工期はどのように考えているのか。冬期間に入り、幅員の狭い所で地盤も弱い部分も含んでいることから、細心の注意が必要である。

施設班長

工区的に同時に進めていくが、気候条件や現場の施行進捗度合を勘案して、検討しながら進める。

色川晴夫議員

半年間の工期目安となると、3月・4月になるが、特に瑞巖寺前、観光棧橋の前はメインストリートであるので、観光客への配慮をお願いしたい。

水道事業所施設班長

工区は観光地の真ん中であることから、県の公園工事との調整を含み、他事業との調整から開削ではなく、地中を小口径で進める推進工法を採用し、出来るだけ支障が出ないように進めていく。

賛成全員・可決

平成27年度松島町水道事業会計補正予算

主な内容

水道メーター検針業務を専門業者に業務委託するため、債務負担行為をすることができる事項、期間および限度額を補正するものである。

質疑

色川晴夫議員

町内の水道業者で行ってきた検針業務を、検針専門業者に業務委託という内容であるが、町民の皆さんに広報を通じて仕事の一つとして提供するといった考えはなかったか。

水道事業所長

検針員としての資格は必要ないが、

検針業務のためにバイクの免許のある人や、定まった期間内に成果を出さなければならぬなど制約が出てくる。個人に頼むと5日間の検針で実質9名の人数が必要になる。これまで庁内でも色々な角度で検討したが、継続性の確保の面などから専門業者に業務委託となったものである。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔町道名籠線避難道路整備工事〕

主な内容

町道名籠線避難道路整備工事の工事請負契約の締結にあたり議決を求めらるものである。

○契約金額

9504万円

○契約の相手方

伏谷建設㈱

賛成全員・可決

議員提案

松島町議会基本条例の一部改正

改正理由

議会が、議決する町の重要な計画等第8条の議決事件について、現状及び今後の予定等を踏まえ、次の8事件に改正するものである。

一、長期総合計画の基本構想

二、松島町国土利用計画

三、松島町都市計画マスタープラン

四、公害防止協定の締結に関する事項

五、松島町障がい者計画

六、松島町子ども・子育て支援事業計画

七、松島町高齢者福祉計画

八、松島町観光振興計画

画・介護保険事業計画

画

賛成全員・可決

賛成全員・可決

松島町議会委員会条例の一部改正

改正理由

議員の自己研鑽と資質

人事

の向上、議会活動を支える体制を幅広く経験を積むことを目的として常任委員の任期を2年とするものである。

賛成全員・可決

松島町副町長
熊谷清一氏に同意

………賛成全員

○熊谷 清一氏

昭和30年5月7日生

松島町磯崎字割波二3番地の2



松島町教育委員会委員
赤間里香氏に同意

………賛成全員

○赤間 里香氏

(松島町幡谷)



平成27年 第2回
臨時議会
7月13日

文化観光交流館 指定管理者制度の導入

指定管理者の指定

主な内容

松島町文化観光交流館の設置及び管理に関する条例に基づき指定管理者を募集したところ、1団体から申し込みがあった。審査した結果、事業計画及び施設の運用計画が高く評価され、株式会社BBIを指定管理者に指定するものである。

質疑

櫻井靖議員

1社の申し込みがあったということであるが、ほかに声かけをしたのか。

教育課長

仙台の大手芸能興業法人5社に声かけをした。しかし、本申請はなかった。

櫻井靖議員

応募資格は舞台機構調整技術3級以上とあるが、これは音響の資格であり、照明に関

する資格ではない。照明の認識が薄いのではないか。照明は火災や落下事故といった重大事故につながる。公民館の音響の照明の不備もあり、管理がずさんである。どう考えているのか。

さらに議会、監査の意見もあることを踏まえて5年とした。

小幡公雄議員

仙台市などでは、社団法人、公益法人などに指定管理者を指定しているが、松島は1社に年間2000万円を超す管理料を支払う意味はあるのか。

教育課長

音響スピーカーについては、専門的なレベルで調整する必要があり、一番神経を使うことで精度のいいものを設置した。

副町長

平成23年度から、中央公民館の大規模改修について議会で説明し、その後何度か全員協議会を開催し意見を聞いている。運営で知識、経験は必要であることから、行政で運営するより公募で指定管理を頼むことになった。七ヶ浜国際交流村での1000万円は、音響だけで施設その他の維持管理はしていない。

赤間幸夫議員

指定管理期間の定めについて、新規参入の場合は最初に6ヶ月間、さらに更新して4年6ヶ月間、あるいは、1年、3年、5年といった決め方を想定されないのか。

阿部幸夫議員

施設使用での調整会議は今後どう進めていくのか。

教育課長

指定管理期間は3年が基本であるが、全国的な流れで今後5年にしていきたいと取り決めている。文化観光交流館については、指定管理者の機材も導入されている。

教育課長

各種団体など関係者が集まり、年間スケジュール表をつくるのが大事である。時期として、年度前の1月、2月で考えて、教育委員会の責

任で会議を持つ考えである。

菅野良雄議員

公募して1社の申請だが、公募する媒体はどうしたのか。

教育課長

ホームページと入札参加資格登録をしている芸能団体5社に電話した。

色川晴夫議員

年間2000万円、5年間で1億円の管理料。その膨大な維持管理費が今後予想される。公共施設に対する管理料はどの位になるのか。

財務課長

庁舎全体として行財政改革も含め、大きな検討課題である。

今野章議員

利用料金収入は指定管理者の収入になるが、町民の利用料金または事業収入も管理者の収益になるのか。

教育課長

町民の利用料金はほとんど減免であり、町外者の利用料金は150万円前後である。また、管理者が収益を上げることとは法律上認められていない。

賛成多数・可決



文化観光交流館

工事委託に関する協定の締結

○浪打浜雨水ポンプ場建設工事

主な内容

公共下水道施設災害復旧事業に係る浪打浜雨水ポンプ場の建設工事を日本下水道事業団と工事委託協定を締結するもので、海岸グリーン広場内に雨水貯留施設及びポンプを新設するものである。

○協定金額

12億5800万円

○協定の相手方

日本下水道事業団

質疑

赤間幸夫議員

完成時での維持管理対応職員は何人で、研修へ参加する必要があるでないか。

水道事業所長

管理職員は2名であり、研修については、8月に1名派遣し資格を目指す予定である。

今野章議員

浪打浜の雨水ポンプ場に流入する雨水区域はどの範囲か。

水道事業所長

浪打浜地区、三十刈、観瀾亭脇と松島保育所周辺の雨水である。

色川晴夫議員

浪打浜排水区の国道45号より山側地域が一番被害が多い。今後の計画は。

水道事業所施設班長

高地よりの排水は直接海に自然の圧力で排水する。入札が2度不調となり、内容変更して入札を予定し、早期に工事に入るよう努める。

賛成全員・可決

○普賢堂雨水ポンプ場他1施設建設工事

主な内容

復興交付金事業に係る普賢堂雨水ポンプ場他1施設の建設工事を日本下水道事業団と工事委託協定を締結するものである。工事の内容は、普賢堂雨水ポンプ場及び蛇ヶ崎雨水ポンプ場のポンプを増径・改修するものである。

○協定金額

12億900万円

○協定の相手方

日本下水道事業団

質疑

今野章議員

これで安心して暮らせるようになるのか。また、センチュリールホテル下の管廊に赤線がある。どういうことか。

施設班長

蛇ヶ崎地区での排水能力は100%超える能力となり、問題はないと考える。普賢堂は、今回700ミリ3台に更新する。75%まで排水量が増えるが、25%足りない。100%までの排水量は、現在の復興交付金事業ではできない。また、センチュリール下については、水の流れをスムーズにして排水能力を向上させる設計である。

色川晴夫議員

普賢堂排水地域のごんきや周辺は低く逆勾配になっている。対策は。

施設班長

オルゴール館跡も協議し、勾配を直して水路を改修する設計を今進めている。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結

○古浦地区避難施設建設工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する古浦地区避難施設建設工事に関するもので、古浦地区に災害時に避難者を受け入れるための避難所の建設を行うもので、工期は平成28年3月31日である。

○契約金額

5448万6000万円

○契約の相手方

大和リース(株)仙台支店

賛成全員・可決

○手樽地域交流センター備蓄倉庫建設工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する手樽地域交流センター備蓄倉庫建設工事に関するもので、工事の内容は、手樽地域交流センター敷地に備蓄品並びに資機材などを保管する備蓄倉庫を建設するものである。

○契約金額

6804万円

○契約の相手方

丸か建設(株)仙台支店

質疑

赤間幸夫議員

入札における予定価格と最低制限価格での最低価格は何を参考にしているのか。

総務課長

松島町は、調査基準価格の算出方法をもって最低制限調査基準価格を基本としている。

今野章議員

基準価格を8000円上回っただけで、2000万円近くの違いはおかしいと思うがどうか。

総務課長

気持ちはわかるが、ルールに従っている。前は調査基準価格をベースに決めていたが、今は最低制限をもって決めている。

副町長

入札監視委員会とかの中で、調査基準価格を設けないで、機械的に最低制限価格を設けるということ、今はその流れである。

会計検査院の検査対象となるので、国・県の指導の中でやっているの

高い、安いではなく、落札率が決まったということである。

今野章議員

8000円の為に2000万円も高いものを買っている。仕組みの問題であれば5%範囲内のズレがあった場合は、調査価格でやることもあると思いますが問題ないと思うが、柔軟な行政対応が大事と思うがどうか。

副町長

町だけの考えで運用ができるのであればいいが、国費、交付金をもらっているので、基本的には国の基準等に従わざるを得ない結果である。

今野章議員

予定価格7500万円が2000万円近くも下がるのに、議会はしようがない話で済まされないのでは正している。

菅野良雄議員

柵は本工事に入っているのか。また、最低制限価格8

000円下がっただけで失格とは。例えば、倉庫を建てるとしてこんな値段が高くなるものかと質問している。

総務課長 今回の議決案件の工事本体の中に柵も入っている。

副町長 先に説明した通りで、100%復興交付金である。高い安いは、業者の判断の中で、資材とか仕入価格になる。これで予定価格を設定した。

賛成多数・可決

○松島運動公園備蓄倉庫用地造成工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する松島運動公園備蓄倉庫用地造成工事に関するもので、敷地内の東口付近に備蓄倉庫の建設のため用地造成を行うもの。

○契約金額

5616万円

○契約の相手方

(株)阿部土木

質疑

高橋利典議員

既存駐車場の保障として、西側の山林部分に24台分の駐車場整備する内容になっているが、運動公園の駐車場スペースが足りないのので拡張してはどうか。

総務課長

基本的に復興事業であるので、台数的な機能保障分までしか認められないため、24台分の駐車場整備となる。

賛成全員・可決

○石田沢地区避難場所整備その2工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する石田沢地区避難場所整備その2工事に関するもので、津波被害を受けた松島地区を対象に、津波浸水区域の背後地に地域住民及び観光客等の安全を確保する避難場所整備として、舗装工事を主とした整備を行うものである。

○契約金額

1億2636万円

○契約の相手方

前田道路(株)仙台営業所

質疑

色川晴夫議員

建物を作り活用することになるが、どこまで進んでいるのか。震災復興対策監 復興交付金事業の防災まちづくり拠点である。制限があり、「道の駅」という言葉は使わないよう言われている。立地条件を最大限活用出来るものを考えている。

賛成全員・可決

○三十刈地区避難場所整備その2工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する三十刈地区避難場所整備その2工事に関するもので、工事内容は、津波被害を受けた松島地区を対象に、地域住民及び観光客等の安全を確保する避難場所整備として、舗装工事を主とした整備を行うものである。

○契約金額

1億6524万円

○契約の相手方

三井住建道路(株)東北支店

○契約金額

1億2636万円

○契約の相手方

賛成全員・可決

○町道東浜2号線外道路整備工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する町道東浜2号線外道路整備工事に関するものである。工事内容は、1工区で施工延長225m、2工区施工延長305mを行うものである。

○契約金額

1億9872万円

○契約の相手方

共立工業(株)松島営業所

賛成全員・可決

○町道手樽・富山駅線避難道路整備工事

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する町道手樽・富山駅線避難道路整備工事に関するものである。工事の内容は道路改良工・施工延長900mを行うものである。

○契約金額

3億240万円

○契約の相手方

(株)NIPPPO宮城統括事務所

賛成全員・可決

平成27年度松島町一般会計補正予算

主な内容

今回の補正は、全て東日本大震災復興交付金事業であり、予算総額に35億9967万円を追加し、総額を173億7585万円とするものである。内容は、第12回配分事業である。

賛成全員・可決

平成27年度松島町下水道事業特別会計補正予算

主な内容

予算総額に7198万円を追加し、総額を4億473万円とするものである。内容は、松島地区外内水対策事業小石浜排水区に係る雨水管渠築造工事について補正するものである。

施設班長 側溝にあるもので、上部が開いてなく地中に埋設されて水路として使う。

阿部幸夫議員 ボックスカルバートの勾配は何%で、上の部分はどういう使い方をしているのか。

施設班長 最低でも1%を考えている。道路の舗装として使うもので、車道として使う。

賛成全員・可決

質疑

後藤良郎議員

水害対策で放流渠工事であるが、ボックスカルバートとは。

まとめ

工事委託に関する協定とは？

工事に関する設計・積算・施工監理など全部を協定者へ委託するものである。

工事請負契約の締結 ほか

工事請負契約の締結

○三浦地区避難施設建設 設工事

質疑

色川晴夫議員 議案85号

とも関連するが、建築面積、延べ面積がほとんど変わらない建設工事で落札率が80%、一方は92%である。落札金額に差が出ていることを伺う。

町長 地理的条件が全然違うことや、工事する箇所に行く道路の利便性もあることから落札率に差が出るのではないかと思

っている。

○名籠地区避難施設建設 設工事

質疑

赤間幸夫議員 議案84号・85号でそれぞれ落札

者が決まった時点で予定価格を公表するのか。

総務課長 事務手続上、全部入札が終わって職員が役場に戻ってから全部公表になる。

赤間幸夫議員 同じ様な建設工事であり、同一仕様内容と同一仕様規模から、コンサルタントに委託する際、同一仕様内容で標準タイプ1・2と効率よく発注できないのか。

総務課長 同じ地域で同じような建物であればなるべく仕様は合わせるように職員が対応している。その都度受注者の状況を見て対応していきたい。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

総務課長 暖冷房は整備されているが、間仕切については補助の対象には含まれていない。別対応

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

色川晴夫議員 避難施設の1フロアは94畳で130名のを想定している。暖冷房対応とフロアの間仕切りはどのように考えているのか。

で部分的に広げたり狭めたり出来る対応を考えていきたい。

松島運動公園備蓄倉庫建設工事

菅野良雄議員 備蓄倉庫は町内に何棟建設となり、その中に入る支援物資はどれだけ備蓄となるのか。

危機管理監 町内に8棟の建設となる。そこに一度に備蓄品を納入は不可能であり、何年か通して整備をしていく。

菅野良雄議員 町内にパランスよく建設になると思うが、備蓄の物品を把握しているのか。

総務課長 備蓄の物品は全部把握している。災害の種類での備蓄する物品は、全体を見ながら対応していきたい。

町道高城・松島線避難道路整備その2工事

質疑

今野章議員 入札が2回不調となっている。再入札という考えはなかったのか。

総務課長 復興事業は、

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

水道事業所長 新たに増設となり一分間60トンの排水能力となる。町の水・雨水の排水計画は時間当たり47・5ミリで全てのポンプ場を計算している。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

色川晴夫議員 新設による排水能力を伺う。また町の排水計画は何ミリか。

平成27年 第2回松島町議会臨時会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
議案第72号	指定管理者の指定について（松島町文化観光交流館）	7月13日	多	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第76号	工事請負契約の締結について（手樽地域交流センター備蓄倉庫建設工事）	7月13日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	12	1

賛成全員

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第73号	工事委託に関する協定の締結について（浪打浜排水区雨水ポンプ場）	議案第79号	工事請負契約の締結について（三十刈地区避難場所整備その2工事）
議案第74号	工事委託に関する協定の締結について（普賢堂雨水ポンプ場他1施設）	議案第80号	工事請負契約の締結について（町道東浜2号線外道路整備工事）
議案第75号	工事請負契約の締結について（古浦地区避難施設建設工事）	議案第81号	工事請負契約の締結について（町道手樽・富山駅線避難道路整備工事）
議案第77号	工事請負契約の締結について（松島運動公園備蓄倉庫用地造成工事）	議案第82号	平成27年度松島町一般会計補正予算（第3号）
議案第78号	工事請負契約の締結について（石田沢地区避難場所整備その2工事）	議案第83号	平成27年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

平成27年 第3回松島町議会定例会 議案採決結果

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	片山正弘	賛成	反対
議案第96号	松島町個人情報保護条例の制定について	9月28日	多	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	10	2
議案第99号	松島町町税条例の一部改正について	9月28日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第100号	松島町国民健康保険税条例の一部改正について	9月28日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第101号	松島町手数料条例の一部改正について	9月28日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第114号	平成26年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	10月8日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第115号	平成26年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	10月8日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第116号	平成26年度松島町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	10月8日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第123号	松島町副町長の選任につき同意を求めることについて	9月25日	同意 (投票)													-	12	0
議案第124号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月25日	同意 (投票)													-	12	0

賛成全員

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第97号	職員の再任用に関する条例の一部改正について	議案第111号	平成27年度松島町下水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第98号	指定管理者の指定について（帰命院避難所）	議案第112号	平成26年度松島町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第102号	指定管理者の指定について（手樽防災センター）	議案第113号	平成26年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第103号	工事請負契約の締結について（漁業集落防災機能強化工事 早川地区）	議案第117号	平成26年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第104号	平成27年度松島町一般会計補正予算（第4号）について	議案第118号	平成26年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について
議案第105号	平成27年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	議案第119号	平成26年度松島町松島区外有財産特別会計歳入歳出決算認定について
議案第106号	平成27年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	議案第120号	平成26年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第107号	平成27年度松島町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	議案第121号	平成26年度松島町水道事業会計決算認定について
議案第108号	平成27年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第1号）について	議案第122号	工事請負契約の締結について（町道名籠線避難道路整備工事）
議案第109号	平成27年度松島町松島区外有財産特別会計補正予算（第1号）について	議員提案第4号	松島町議会基本条例の一部改正について
議案第110号	平成27年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	議員提案第5号	松島町議会委員会条例の一部改正について

議員報酬の見直し

議会活性化調査特別委員会



理由

現行の松島町議員報酬は、平成8年に改定されて以降、見直しがされていない。

地方分権一括法が施行された現在、国による地方公共団体への関与が縮小し地方公共団体は、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うこととされています。このことにより地方公共団体の自主性、自己決定権が拡大すると共に、併せてこのような状況に対応した議会の役割は政策立案機能が重視されるなど、更に議会の行政執行に対するチェック機能も拡大されているところであり、いわゆる議会権限の内容とその及ぶ範囲も大幅に拡大されてきております。

松島町議会は、平成20年3月に議会改革の端緒として宮城県下で最初の「議会基本条例」を全員一致で制定しており、更には議員発議による議員定数削減を平成22年12月に行い、平成8年以降22名の議員が現在では、14名の議員定数になっております。こうした取組みは一方で、通常の定例会や委員会等の議会活動以外に多大な時間と労力を費やし調査、研究が行われて実現されてきていることは周知の事実であります。

今後においても、自己決定、自己責任の分権社会においては、益々広範囲且つ専門的に議員活動に専念しなければならない状況も生じてくるものと考えられます。

従いまして、議員報酬は議員活動に見合う保障を考えるべきであり、最近の全国的な傾向として、議員に立候補する有為な住民が少なくなってきた時に、若い世代を含め、いろいろな方が議員に立候補し、まちづくりに関わることが出来る環境整備を図ることが必須と考えるところです。

1 若い世代や女性が議会に参画してもらえるように、生活給に見合う報酬とするため。

2 政策の立案や議員立法を行うなど、これからの議員は専門性がもたれられてきており、議員自身の資質向上を図る手段としても報酬見直しが必要である。

3 現行の議員報酬は、平成8年以降19年間見直しが行われていないことやこの間、平成23年6月には議員年金制度が廃止され、議員辞職後の保障がなくなっているため。

▷見直し額(案)と算出根拠

案1) 改正月額報酬 281,000円

算出根拠：首長給料月額に対する1/3程度が一般議員報酬月額とする(県議長会での話題を基に、先例町村を参考にした場合)

【松島町長 843,000円×1/3≒281,000円】

案2) 改正月額報酬 295,000円

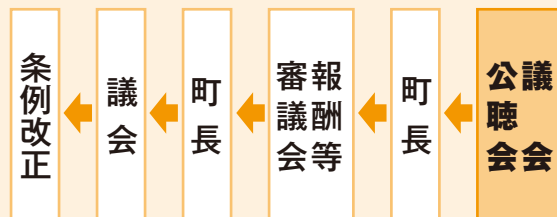
算出根拠：議員定数削減による報酬額の再配分を想定(H25/12議員14名)

【報酬歳出削減額(11,040千円)/12月/14名≒65,000円+230,000円】

案3) 改正月額報酬 333,000円程度

算出根拠：2014年度家計調査報告[総務省統計局]の消費支出を参考

松島町議会報酬等審議会設置に関する条例に基づく手続き



報酬等審議会は松島町の区域内の公共団体等の代表など13人の委員で構成され、町長の諮問により開催される。

※見直しをする場合は、上記の流れとなります。

研修レポート 第1常任委員会

「6次産業化の取り組みについて」

本町の6次産業化の推進にあたり研修を行った。

(1) 広島県世羅町

広島県世羅町は、平成9年頃から6次産業の取り組みを始めている。その背景には農業者の高齢化・担い手減少、農地の荒廃・耕作放棄、農業の経営安定ができないなど

世羅町では課題抽出と課題解決策を住民参加型で見出し、大学や国・県、JA、近隣町連携により取り組んでおり、併せて、町専門担当職員の育成や関わりのある農業者等の研修を徹底している。

用・活躍が優れていた。

(2) 山口県萩市

むつみ農産物加工販売施設「萩・むつみの恵み」のある「むつみ地区」は、萩市中心部から離れた位置にあり、人口が急激に減少し、過疎化が進んでいた。

無農薬野菜や昆虫王国などを活用し、特性を活かした観光ルートを整備し、観光力を高める目的で「むつみ地域観光プロジェクト」を立ち上げ、農家レストラン、農産物直売所開業させた。

さらに、その中心的役割を女性に委ねることで、女性特有の感性と気配りで元気で活力がある運営している。

また、水産業関連では、県主導のもと5万㎡を埋め立て、1市3町の14漁協の広域合併・統合により市場整備し、効率化と

魚価の安定を目指し、水揚げされた水産物を市場の隣の「萩シーマート」で水揚げの約15%を販売し、地産地消の典型的モデルとなっている。

松島町はホテル・旅館・土産店・レストランと他町にはない恵まれた環境下にある。6次産業の取り組みに対して一段の努力が必要と感じた。



広島県世羅町

研修レポート 第2常任委員会

「子育て・教育の二貫教育について」「子育て支援の町宣言」と「コミュニティタクシー予約制いこかーについて」

子育て環境と教育環境の充実を目的に視察研修を行った。

併せて、交通弱者にとつての交通手段としてコミュニティタクシーの運行について視察研修を行った。

(1) 福岡県大刀洗町

大刀洗町では、「子育て環境と教育環境の充実」を踏まえ「チルドレンファースト」を合い言葉に、子供たちの自立に向けた様々な施策を展開している。

中でも児童福祉と学校教育の一元化をした「子ども課」を設置し乳幼児期から青少年期までの一貫した子ども行政を行い、子どもを中心とした多様な支援体制の強化を図っている。

(2) 佐賀県 みやき町

みやき町では、平成24年9月1日「子育て支援

のまち宣言」を行い、「子育てするならみやき町」をスローガンに子育て対策を第一の課題として位置づけ、子育て支援事業を積極的に取り組んでいる。特に力を入れてる事業は公民連携を活用した子育て支援事業を行っている。たとえば「町民協働による子育て支援推進活動」で町民の自主的な活動を補助することにより、子育て支援事業が安価で実施できる。

その他、行政が行う事業として、18歳到達年度まで医療費助成や出産祝金の支給などを行っている。

(3) 佐賀県 白石町

白石町では、交通空白地帯の交通弱者にとつて「定時定路線運行」を行い運行当初は交通手段として便利なものになっていた。しかし、運行経費

に対する県補助金の廃止により、一般財源の持ち出しが増えることになるなど路線の見直しを行ってきたものの運行継続は厳しい状況であった。

そこで、平成22年度から「予約制いこかー」の運行を開始した。完全予約制、一乗車300円、乗り合いで自宅から乗車し、白石町の指定停留所まで直接行くことができ、帰りも指定停留所から自宅まで乗車でき、通院や買い物で利用できる。



佐賀県みやき町

町政Q&A

一般質問

ここが聞きたい!

しっかり
答えてネ!

赤間 幸夫 議員 (28ページ)

櫻井 靖 議員 (29ページ)

後藤 良郎 議員 (30ページ)

今野 章 議員 (31ページ)

色川 晴夫 議員 (32ページ)

菅野 良雄 議員 (33ページ)

6人の議員が11件について質問

問

町政運営を経営的感覚で
取り組みたいとは

答

数値目標による進行管理を行い、
事務事業の情報をオープンにしていく



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 課題解決には、計画行政の推進が不可欠であり、目標達成の為の進行管理とチェック機能が必要となる。事務事業に対する成果や進捗度合いを、町民、事業者等に対し常にオープンにした取り組みを行う考えはあるか。

町長 事務事業ごとにその内容や事業費、事業の進捗を管理するための数値目標の検討を行い、その進捗状況をチェックし、町民の皆様にも公表できる仕組みを検討したい。

問 組織運営のトップとして、施策展開のスピード感、タイムリー的取り組み、思いやりのある行政サービスの展開・追及

は、どのように考えているか。

副町長 考え方として、大きく4点ある。

1つ目に、あらゆる分野での経営的管理の確立として、目標の設定、行動、評価、見直しという経営管理サイクルを実践していきたい。

2つ目では、行政評価制度を採用し、事業の必要性、合理性、成果などを検証する評価手法を取り入れていきたい。

3つ目には、町民の意見を反映した行政運営の実践ということで、政策の検討、立案、実施、評価の過程で情報提供を行い、職員一体となった取り組みを行う。

4つ目は業務の再構築として、時代に相応した

取り組みであり、コストの削減、即応性の向上など、業務の再構築を図りたい。

問 職員男女の別を問わず、町長との懇談の機会を持たれてはどうか。行政課題の解決には、一番の近道になると思うが。

町長 決裁の機会などを捉え会話をしたり、各課へ出向き職員の顔を覚えながらコミュニケーションを図ることによって、職員の側から私の方に色々な意見を言いやすく、話しやすくするのも私の務めと思っている。



さくら い 井 やすし 靖 議員

問 9.11の大雨から教えられること

答 一番大切に考えることは、
子供の生命の安全をきちんと守ること

問 小中学校の休校の判断は誰が行うのか。もう少し速い判断は出来なかったのか。

教育長 休校の判断は校長にある。

教育課長 雨量が一気に増し6時50分の避難勧告だったため、想定できず今回の判断となった。今後は、災対本部としつかりと連携を密にしながらか安全な通学に努めたい。

問 防災行政無線は、聞こえないという声があるが、あり方について検討見直しを考えているか。

危機管理監 難聴区域においては広報手段の1つとして戸別受信機、防災ラジオについて、今後は

課題として検討していきたい。

問 備蓄品の中で賞味期限が切れるものが大量に発生すると思われるが、切れた後の交換はどうなっているのか。



本郷地区備蓄倉庫

副町長 一気に大量という話にはならないが、年次計画でもって準備していく。

危機管理監 賞味期限が切れそうな部分に関しては、自主防災組織のほうに活用していただく。

問 町長はかわった、
松島はかわるのか

答 子供医療費の無料化は、
18歳の高校卒業まで

問 町長の公約である、18歳までの医療費の無料化は、実施時期はいつか。また実施するためには予算の見通しがなければならぬがどうなっているのか。

町長 子供医療費の無料化については、18歳の高校卒業まで拡充し、平成28年4月から実施する方向で進めている。

町民福祉課長 予算については、高校生まで拡充を図った場合、約450万円から500万円ぐらゐの医療費の増というも

ので推計している。

問 定住化対策は、さまざまな課にまたがっている問題である、定住化対策を専門に行う部署を設置してはどうか。

町長 専門的な部署を設置することはよいことと認識している。しかし、震災の復興の加速化や各課が所管する事業と職員数との兼ね合いを見ると大変難しい。まずは現下体制で、庁内にプロジェクトチームを設置し、定住化対策に取り組んでいく。

問 手樽駅の遮断機設置について

答 高城町駅のような構内通路を検討している



ごとう よしろう 議員
後藤 良郎 議員

一般質問



手樽駅構内

問 仙石線の全線開通に伴い、手樽駅のプラットホームへの自由通行が禁止されている。手樽行政区で新たに踏切（遮断機つき）設置を要望しているがどうなっているか。

震災復興対策監 J R、町、手樽行政区の三者で協議を行った。事故防止の観点から踏切の新設は難しいが、高城町駅のような警報機、遮断機の付いた構造の構内通路をJ

Rで検討している。

問 構内通路となると具体的にどうなるのか。

震災復興対策監 利用者の多い北側（山側）からの進入が前提で南側（海側）への通り抜けはできない。これでJ Rは考えている。

問 北側と南側の両方から通行できるようにすべきではないか。

震災復興対策監 具体的な図面や計画についてJ Rと進めている。その中で両側から利用できるよう要望している。

問 通学路の安全対策について

答 国や県に対しLED照明への切りかえを要望していく

問 松中前の県道から愛宕橋を渡り、国道45号線から町道に入り松高前を通り佐藤新聞店前を過ぎ迎山や割波を経由、高城町駅までの通学路がある。中高生が部活動を終えて帰宅する時間帯は暗く、危険な状況である。そして、このルートに防犯灯や外灯等が設置されているが、暗くて周辺が見えないという声がある。これをどう考えるか。

町長 中高生の通学路に当たる町管理の防犯灯については、補助金を使いほとんどLED照明への切りかえを行っている。また、国道45号、中学校前の県道については、確認したところ、順次LED照明への切りかえを実施していく。当町が観光地でもあり、該当箇所が交差点、通勤通学路であることから優先的にLED照明への切りかえを実施するよう国や県に対し要望していく。



あきらの 今野 議員

問 子ども医療費の所得制限撤廃を

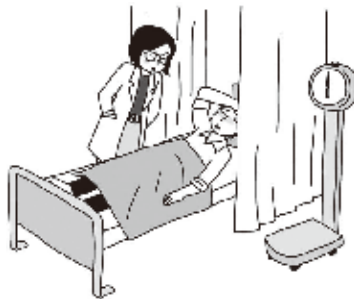
答 すべての子供が平等に受診可能に

問 本町は県内トップクラスの人口減少率で、出生数は70人前後で推移している。町長は先の選挙公約で「子ども医療費を18歳まで助成拡大」、その実施を28年4月からと答弁した。どの子ども公平に受診できるよう同制度の所得制限を撤廃すべきと思うが見解を伺う。

町長 現在、助成制度には所得制限が設置され130人が対象外である。今回、18歳の高校卒業まで医療費の助成を拡充するとともに所得制限を撤廃し、全ての子供が平等に受診できるようにする。費用は18歳までの拡大で500万円。所得制限廃止で300万円程度の額が生じる見通しである。

問 小児科、眼科・耳鼻科など町内の医療供給体制の強化へ、医師会などとの話し合いの機会を持ち展望を開く努力をすべきと思うがどうか。

町長 話し合いを通じて打開策を見出せるよう努力したい。



問 高すぎる国保税の引き下げを

答 国保改革もあり、時期尚早

問 国保は加入者の約6割が所得100万円以下の世帯で、55%以上が60才以上と低所得、高齢世帯で構成されている。組合健保や共済と比較し保険料本人負担が高いが、町長の認識はどうか。

町長 国保は、高齢者が多く医療費支出が高い。また低所得者が多く財政が不安定という構造的問題があるが、多くの自治体に共通のものである。

問 財政調整基金が厚労省基準の4倍近くになっている。この基金等の活用で保険料の引き下げを行ってはどうか。

町長 平成30年度から実施される国保改革で、県の責任で国保が運営されることから、国保税の引き下げは時期尚早と考える。

問 国保の困難は、国が国保への負担を引き下げたことが大きい。負担割合を元に戻すよう求めるべきではないか。

町長 30年の国保改革を焦点に町村長会と歩調を合わせていきたい。

問 新町長に伺う。今後のまちづくりをどう進めるのか。

答 震災復興をこれまで以上、国・県と連携していく。



いろ かわ はる お
色 川 晴 夫 議員

問 初の定例議会での所信表明と、5つの公約を挙げた。今後4年間、櫻井町政のもと松島丸が進むことになる。どう取り組まれるのか。

町長 震災後4年6ヶ月、まさに復興を果たしたと言えるのは、町民の皆様や松島を訪れた方々が本町に魅力と豊かさ、そして、安全と安心を実感したときである。これまで以上、国・県・各関係機関と連携して全力で取り組んでいく。

問 松島町の最優先課題は、子育てと教育環境の充実と考える。「松島町はすばらしい！松島町で教育を受けさせたい」と思える町であってほしい。町長の選挙公約でもある。その決意は。

町長 子供が減っていく中で、保育所、幼稚園のあり方について、来年度委員会をつくり検討し、これらの課題を速やかにやる。又、教育については、携わるスタッフの充実が一番であるので合せてやる。



第一小学校の学習風景

問 ふるさと納税で税収増と地場産業の育成

答 一年後ふるさと納税を実施する

問 私は、3月議会でするさと納税の導入について、前向きに取り組むべきと質問したが、国（総務省）より自粛の要請があるとの事で消極的な答弁であった。

その後、テレビ、新聞報道で取り上げられて、全国の市町村は懸命に税収増に取り組んでいる。ふるさと納税は、単に税の増収を図るだけでなく、返礼品として地場の農水産物や観光に関わるものをインターネット等で選べ大変な人気である。松島町においても、積極的に取り組むべきであるがどうか。

町長 質問の趣旨は理解している。町長就任後、担当課と協議している。県内各市町村でも特産品を返礼品として、創意工夫している。財政面から言えば、積極的に行う必要性は感じるが、総務大臣通知もあり二面性を有している。

しかし、工夫次第でふるさと納税額を増すことは可能である。魅力ある返礼品やPRを検討し、一年後には実施すべく指示した。二歩も三歩も前進させていく。



菅野良雄 議員

問 避難所や災害備蓄品等について

答 課題があり検証する

問 9月11日の大雨時避難勧告を発令し、品井沼環境改善センターを避難所として開設したが、地域防災計画に示された洪水時の避難所として×印がついている。人命に関わるような間違いをなぜ起こしたのか。

危機管理監 高齢者がいるので畳敷でテレビ等があり情報得られやすい場所として開設したもので、発令時は吉田川右岸の越水は考えていなかった。

問 避難所で一家族に対しペットボトル一本の水が配布されたが少なかつたのではないか。

危機管理監 高齢者が薬を飲むための水として配布したものである。

問 五小体育館は洪水時の避難所として指定されている。非常時に必要な備品は整っているのか。

危機管理監 小学校で備えた食料等と町で持ち込んだ発電機等が倉庫に保管されているが、生徒が優先される。



第五小学校体育館

問 現在、整備している避難所は冷暖房完備である。まだ、完備されていない避難所は何ヶ所か。

危機管理監 計画上では二十三カ所に対し八ヶ所で完備された。

問 避難や避難所の在り方で課題が発生している。しっかり検証し対策を講じてほしい。

問 安全・きれいな水道水の供給について

答 検査結果を年四回に

水道の水源は、仙南仙塩広域水道・大崎広域水道・鳴瀬川表流水の3ヶ所である。住民の一部に鳴瀬川の水は汚い水で美味しくないと言う人がいる。

町は仙台市水道事業所と水質検査の実施について契約を締結し「農薬・大腸菌・有機物・濁度・臭気」等々の検査を実施ししっかりとした水質管理を行い良質な水の安定供給に努めている。

誤解のないように、安全・安心な水道水であることを広報やネットで定期的に情報を提供し、理解してもらう必要があると思うが。

水道事業所長 年1回、町のホームページ掲載し公開しているが、質問の趣旨を踏まえ、年4回、法令で定められている51項目の検査結果についてホームページに掲載したいと考えている。

広報誌への掲載については検討する。

区長会との意見交換会

議会報告会・議員報酬について

日時 平成27年
10月9日(金)

が行われ、意見交換に入
った。

資料をもとに説明がなさ
れた。

結果、いずれにしても
町民のみなさまのご意見
を聞いた上で、町の報酬
等審議会にかけられるも
のと説明した。

平成27年度議会報告会
の開催に先立ち、行政区
長会と日程・テーマ等に
ついて意見交換を行った。
区長会と議会から全員
参加した。

まず「議員報酬の見直
し」（松島町議会基本条
例第17条）について、議
会活性化調査特別委員会
委員長より、資料をもと
に説明がなされた。

これらの件について各
区長より意見を求めたど
ころ、「議員報酬」はど
うあるべきかの指摘や、
新聞報道等で示されてい
る他町の例などをあげ、
意見を述べられる方がお
られるなど、活発な交換
会となった。

その中で、説明する資
料不足が指摘された。



区長会出席者

- 蜂谷 雅 美様
(松島区副区長)
 - 遠藤 睦 雄様
(高城区長)
 - 濱田 敏 幸様
(本郷区長)
 - 石田 堅 様
(磯崎区長)
 - 樋口 秀 吉様
(手樽区長)
 - 木村 勇 一様
(北小泉区長)
 - 小畑 隆 保様
(下竹谷区長)
 - 早川 節 男様
(上竹谷区長)
 - 阿部 隆 一様
(幡谷区長)
 - 片倉 誠之助様
(根廻区長)
 - 澁谷 正 徳様
(初原区長)
 - 内海 博 之様
(桜渡戸区長)
- は、新たに区長に
なられた方々です。

宮城東部衛生 処理組合議会

平成27年7月24日(金)、宮城東部衛生処理組合議会第2回定例会が開催された。

ごみの搬入状況及び小型家電リサイクル事業の本格的な事業設置、さらに焼却灰・排出ガス中の放射性物質濃度および埋立地浸出処理水・地下水・各種敷地空間放射線量の測定結果が基準値内もしくは不検出である旨の報告があった。

今回の議会では、宮城東部衛生処理組合一般廃棄物処理施設整備基金条例を制定することについて、質疑のうえ賛成全員で可決された。また、一般廃棄物処理施設整備基金条例の議決に伴い、施設整備に必要な原資を施設整備基金に積み立てるため、財政調整基金を取り崩し、施設整備基金へ積み立てることについても賛成全員で可決された。

片山正弘議員
今野 章議員

塩釜地区消防事務組合議会

平成27年7月31日(金)、塩釜地区消防事務組合議会第2回定例会が開催された。

行政報告では、消防事務組合一般会計、介護認定審査事業特別会計、障害者自立支援審査事業特別会計、環境組合会計の4会計について黒字決算見込みであることが報告された。平成26年度の業務概要については、管内での火災発生件数は18件で対前年比7件の減、松島町では3件で対前年比4件の減。管内での救急出動件数は3968件で対前年比66件の減、松島町では410件で対前年比26件の減であった。

次に、要介護認定審査状況は、審査会開催数294回、審査判定8525件であり、障害者支援区分審査状況は、審査会開催数23回、審査判定234件であった。また、し尿及び浄化槽汚泥の搬入総量は1万773tで対前年比682tの減であった。

また、斎場の利用実績は2166件で対前年比124件の増であった。
今定例会の議案審査では、議案第8号環境事業特別会計

宮城県後期高齢者 医療広域連合議会

平成27年8月4日(火)、宮城県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会が開催された。

今定例会には(1)宮城県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例の一部を改正する条例について、(2)平成26年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計決算の認定について、(3)平成27年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算について、(4)平成27年度宮城県後期高齢者医療特別会計補正予算について、(5)副広域連合長の選任の同意をもとめることについて、(6)監査委員の選任の同意を求めることについて、(7)議員提案、東日本大震災被災者に対する医療費の一部負担免除に関する意見書、以上が提案され、すべて原案どおり可決・認定・同意された。

また、東日本大震災による被災した後期高齢者の医療費等の一部負担金の免除措置の継続に関する請願は不採択となった。

色川晴夫議員

吉田川流域溜池大和町外 2市4ヶ町村組合議会

平成27年7月28日(火)、吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合議会第1回定例会が開催された。

平成26年度吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合会計歳入歳出決算認定については、歳入総額が150万円、歳出総額が73万円、繰越金額77万円となり、原案どおり可決された。

財産に関する調査嘉太神溜池補修基金は、平成27年3月現在444万円の積立基金である。

平成27年度吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合会計歳入歳出予算については、歳入総額、歳出総額ともに201万円とし、歳入の主なものは、市町村の負担金であり、歳出の主なものは、修繕費及び堤体草刈り等であり、原案どおり可決された。

今後の事業計画は、嘉太神溜池調査及び設計について、国100%補助による2000万円予算の調査計画事業が実施される。

併せて嘉太神溜池の現地調査を実施した。

阿部幸夫議員

一部事務組合議会 及び 広域連合議会報告



佐藤 浩樹さん
(磯崎)

〇〇ばなれを食い止めて

高城で昭和初期から新聞店を営んでおります。最近「若者の〇〇ばなれ」という言葉をよく耳にします。私もや出版業界では「活字ばなれ」が深刻な問題になっており、また、政治の世界では「政治ばなれ」「選挙ばなれ」が進み、投票率の低下など、民主主義が成り立たなくなると危惧されています。

今年六月の公職選挙法改正で、来年六月より、満十八才以上の方が選挙投票出来るようになり、高校三年生も一部の方が投票権を得ます。しかし、高校生で政治に関心を持ち投票に行く方は少ないと予想されます。

我々も高校生を含む若い皆さんに新聞等の活字を讀んでいただき、政治（特に町政）や経済、地域などに興味・関心を示していただけるよう努力しなければなりません。

また、町議会に対しては、議会中継をインターネットの動画配信を通して、いつでも何処でも見られるようシステムを構築していただき、若い方やサラリーマン、子育て中の主婦の方など、傍聴に行けない（行きづらい）方々も手軽に町政を知ることが出来るようにしていただき「政治ばなれ」を食い止めていただきたいと思えます。

視察来町

広島県廿日市市議会会派

8月6日(日)、広島県廿日市市議会会派「クラブみらい」・「クラブひびき」が松島町の災害復旧・復興の状況や、震災前後での防災対策の違いなどの調査のため、視察来町しました。



廿日市市と松島町は、平成26年7月に災害相互支援協定を締結しており、現在も災害支援の職員を派遣していただいています。

島根県議会民主県民クラブ

10月27日(火)、島根県民主県民クラブが景勝地を生かした観光政策の調査のため視察来町しました。



観光振興計画の概要や観光客の入込数などの説明後、意見交換を行いました。

表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島町農業委員会 会長 林 裕志

この度は、議会だよりに掲載いただきありがとうございます。また、日頃より農業委員会に対して暖かいご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さまざまな制度の改正により農業を取り巻く情勢に戸惑うことも多くなっております。農業委員は、農家の代表として責任を果たすべく、これからも活動してまいります。

農地を耕作する目的で売買・貸し借りをする場合や農地以外の用途に使用する場合（転用）、農地の埋め立てや土盛をする場合（一時的な転用）は、農業委員会の許可が必要です。

農地に関する様々な相談やご要望、農業者年金制度等の質問は、お近くの農業委員又は、農業委員会事務局に是非ご相談下さい。

次回12月の定例会は

12月11日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

今年も残り一ヶ月となりました。今年一年を振り返ると、暑かった夏。櫻井新町長の誕生。念願だった児童館や災害公営住宅の完成。マリンピア松島水族館の閉館。嬉しかったこと、残念だったこといろいろなことがありました。

例年のことではありませんが、成人式に始まり、卒業式、入学式、運動会、敬老会。

私もいろいろな行事に参加させていただき、写真を撮らせていただきました。改めて、写真を見返してみたいとき、その生き生きとした表情に感動を覚えます。

議会では、新たに片山議長が選出され、欠員1の13名の体制となりました。議員それぞれの責任が重くなったのだと思っております。

広報委員も改編の時期となり、現メンバーで編集するのは、これが最後となります。次号からは新たなメンバーでの編集となりますが、皆様に親しまれる広報誌を目指し、努力してまいります。

（櫻井 靖）

議会広報発行対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小幡 公雄 |
| 副委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 赤間 幸夫 |
| | 色川 晴夫 |
| | 高橋 利典 |
| | 阿部 幸夫 |



この広報紙は環境に優しい大豆インキで印刷しています